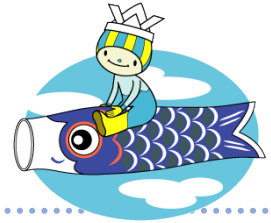


ぎふ感染症かわら版

令和3年4月28日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



県内の保育園で感染性胃腸炎の集団感染が続発しています！感染拡大の要因の一つとして、**不適切なおう吐物・おむつ処理**が考えられます！！

どんな病気？



おう吐物の処理はどうすればいいの？

次ページに書いてあるよ



潜伏期間は1～2日で、吐き気、おう吐、下痢、腹痛などの症状があらわれます。通常は1～2日で症状は治まりますが、小さいお子さんや高齢の方は、おう吐・下痢による**脱水**や、おう吐物による**窒息**に注意が必要です。

どうやってうつるの？ 予防方法は？

感染した人の**便やおう吐物に含まれるウイルス**が、次のような経路で他の人に感染します。

- 患者の便などに含まれるウイルスが、人の手などを介して口に入り感染する
- 感染した人が十分な手洗いをせずに調理をして食品を汚染し、その食品を加熱せずに食べて感染する
- 便やおう吐物が適切に処理されず、床などに残ったウイルスが乾燥して空気中に漂い、それを口や鼻から吸い込んで感染する
- **おむつ交換**の際にウイルスが手指等に付着し、汚染が広がって感染する
- カキなどの二枚貝にはウイルスが潜んでいることがあり、十分に加熱せず食べて感染する



新型コロナウイルス対策ではノロウイルスは防げない？



ノロウイルスは、コロナウイルスやインフルエンザウイルスより**アルコールに抵抗**しますので、十分な消毒効果が発揮されません。

✦ **床など汚染物の消毒には、次亜塩素酸ナトリウム液を使用しましょう！**

次亜塩素酸ナトリウム液の作り方は次ページにあるよ



✦ **こまめな手洗い**

特に、**トイレの後、調理や食事の前**などは、石けんと流水で入念に手を洗いましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。



おう吐物の処理方法

準備するもの

- 0.1%次亜塩素酸ナトリウム液
- 使い捨て手袋（2組）、マスク、エプロン、シューズカバー
- ペーパータオル
- ごみ袋（2枚）とバケツ
- 水ぶき用のバケツ、ぞうきん

すぐに使えるように
そろえておきましょう

ごみ袋は、バケツに2枚重ねて
用意しておくといやすいです



おう吐物の処理手順

- ① 使い捨て手袋（二重）、マスク、エプロン、シューズカバーを着け、部屋の換気をする
- ② おう吐物をペーパータオルで広めに覆い、外側から内側へと静かにふき取る
- ③ ペーパータオルと外側の手袋をごみ袋（重ねた内側の袋）へ入れ、0.1%次亜塩素酸ナトリウム液を入れて浸し、袋の口を閉める
- ④ ふき取った場所に、新たにペーパータオルをかぶせ0.1%次亜塩素酸ナトリウム液を浸し、10分以上そのままにして消毒する
- ⑤ ペーパータオルを回収し、ごみ袋（重ねた外側の袋）に入れる
- ⑥ エプロン、内側の手袋、マスク、シューズカバーをごみ袋（外側の袋）に入れ、袋の口を閉めてそのまま捨てる
- ⑦ しっかり手洗いをする



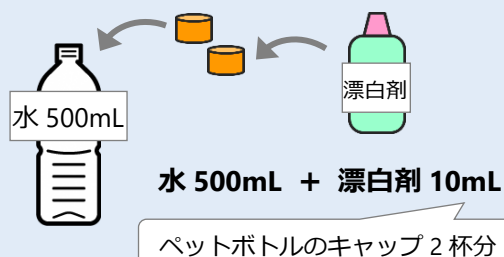
※ 次亜塩素酸ナトリウムは金属を腐食させたりプラスチックを劣化させたりするので、ふいた場所は後から水ぶきしましょう

次亜塩素酸ナトリウム液の作り方

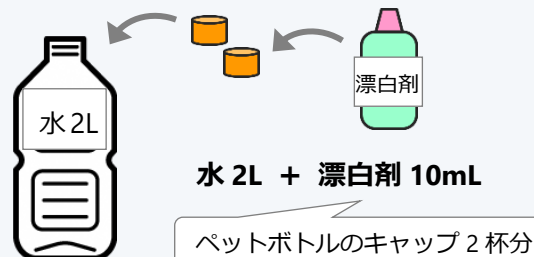
家庭用の塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム濃度 5～6%）を水で薄めて作ります。



0.1%液：おう吐物や便で汚れた場所に



0.02%液：床やドアノブなどの日常清掃に



※薄めた漂白剤は、時間とともに効果がなくなりますので、作り置きせずその都度作りましょう。